



# けいはんな万博2025 基本計画の概要

2023年6月





# 1. 開催趣旨

「けいはんな万博2025」は、高い研究開発力と豊かな歴史文化資源に恵まれたけいはんな学研都市の総力を挙げて、素晴らしい未来社会の実現に貢献しようとする試みです。

楽しく期待感のある様々なコンテンツを展開することにより、科学技術や文化の力で人類が直面する様々な課題に解を与え、健康で平和で豊かな未来の実現に寄与したいと考えています。

「けいはんな万博2025」は、世界へと広がり、未来へと継続する取組です。

# 2. 開催概要

## 開催テーマ

『未来社会への貢献 ～次世代への解～』

- 世界の知と産業への「解」
- 持続的イノベーションへの「解」
- 科学・生活・文化・自然環境の調和への「解」

## 基本方針

- けいはんな学研都市内の立地機関等が一体となって叡知を結集し、「健康」「平和」「豊かさ」に満ちた素晴らしい未来社会の実現に貢献。
- 高い研究開発力や豊かな歴史文化資源等を積極的に活用することにより、科学と文化が融合したけいはんな学研都の魅力を表現。
- すべての世代に届くような楽しさ、期待感のあるコンテンツを展開し、2025年以降も継続。
- 賛同機関の連携協力を一層強化し、研究開発の創発、産業活性化、ビジネスチャンスの拡大を推進。
- 国内外の人々との交流を促進する住民参加型の取組みや、未来的エンターテインメントの展開を推進。

## 事業名称

けいはんな万博2025 (KEIHANNA EXPO 2025)

## 開催時期

2025年(令和7年)4月～同年10月

※機運醸成のため前年から実施する事業、未来に続くレガシーとして期間終了後に継続する事業がある。

## 開催場所

けいはんな学研都市の全域が連携して一体的に実施

※仮想空間も積極的に活用し、夢洲だけでなく世界とも連携する。

### 3. けいはんな万博の構成

2025年(令和7年)4月から10月の期間を中心に、4つのフェスティバルや国際会議をはじめ様々な催事を展開します。

#### 式典

##### 先行催事

けいはんな万博の開催を広く発信する序章として祝祭の雰囲気盛り上げ

##### 開会式

けいはんな万博の意義や内容を広く紹介し、祝祭の雰囲気盛り上げ

##### 閉会式

けいはんな万博の成果としガシー、未来への提言を広く発信

#### 催事

##### FESTIVAL #1

##### ロボット・アバター・ICT

けいはんな学研都市をロボットやアバターで賑やかな街に。

ロボット大運動会  
アバターチャレンジ  
仮想空間、モビリティの活用

##### FESTIVAL #2

##### ウェルビーイング

よりよく生きるために。食・健康・環境から「ウェルビーイング」の未来を考える。

ウェルビーイング祭典  
マルシェ、ロボカフェ  
茶の活用

##### FESTIVAL #3

##### スタートアップ

けいはんな学研都市をスタートアップが競って集まる街に。

KGAP+、KOSAINN+など既存事業の枠組も活用し、国際的なピッチ会等を開催

##### FESTIVAL #4

##### サイエンス & アート

科学と文化の融合による新たな価値の創造。

サイエンス & アート作品展  
各種のワークショップ  
コンサート、美術展

#### 国際会議

様々なシンポジウム、講演会、討論会等を国際色豊かに開催  
フェスティバルのテーマに合わせて学会や国際会議を招致

世界の賢人がけいはんなから未来へのメッセージを発信

#### 長期的な取組

- オープンラボ/テックツアー けいはんな学研都市の魅力発信・オープンイノベーション拠点の機能強化・観光ルートの形成
- 仮想空間の活用 けいはんな万博に関する情報発信、遠隔地の人々との交流など仮想コモンズとして活用
- コモンズの活用 様々な分野、立場の人々が交流し、総合知により新たな価値を生み出す場の創出
- 「学際(GAKUSAI)」プロジェクト 「(仮称)けいはんな大学」の学生による学園祭の開催

## 4. 式典(先行催事、開・閉会式)

開催時期

先行催事：2024年春・秋(予定)／開会式：2025年春／閉会式：2025年秋

趣 旨

けいはんな万博の意義や内容を広く伝え、機運醸成を図るため先行催事を開催します。  
また、祝祭感を盛り上げる開会式、様々な催事の成果や未来に続くレガシー、けいはんな学  
研都市がめざす未来を表明する閉会式も開催します。

概 要

### 1 シンポジウム・講演会

○けいはんな万博の意義や内容等について、国際色豊かな基調講演や  
シンポジウム等を通じて発信。国内外のサイエンスシティとも連携。

### 2 エクスポジションの開催

○けいはんな万博のフェスティバル等で展開するテーマや内容の紹介。  
○けいはんな学研都市の歴史回顧とともに、2026年から始まる第5ステージ以降を展望。

### 3 「TEAM EXPO 2025 Meeting」の招致

○先行催事に、大阪・関西万博の公式共創事業である「TEAM EXPO 2025 Meeting」を  
招致。大阪・関西万博との連携強化とともに、けいはんな学研都市をアピール。

### 4 連携催事の展開

○音楽コンサート、古典芸能など既存の文化的  
催事も併せて開催し、華やかさを演出。



## 5. 国際会議の開催

開催時期 各フェスティバル開催時

趣 旨

世界の碩学、賢人がけいはんな学研都市に集い、科学、文化、平和、経済、社会など様々なテーマについて議論し、健康で平和で豊かな「未来」の実現に向けてメッセージを発信します。

概 要

### 1 国際会議(賢人会議)の開催

○世界の碩学、賢人がけいはんな学研都市に集い、様々なテーマを議論し、健康で平和で豊かな「未来」の実現に向けてメッセージを発信。

### 2 シンポジウム・講演会

○4つのフェスティバルなど様々な催事で開催される多くのシンポジウム、講演会等について、海外からも参加者を招き、国際色豊かに展開。【再掲】

### 3 「茶」の活用

○けいはんな学研都市の周縁に産地が広がる「茶」に因み、世界各地に広がる「喫茶文化」等をテーマに国際会議を開催。【再掲】

### 4 国際会議の招致

○大阪・関西万博を契機に開催される多くの国際会議、国際学会等のうち、けいはんな万博の意義に通じるものを招致。

○その際、けいはんな学研都市内の研究機関や企業等を対象とした「オープンラボ/テックツアー」や、歴史文化資源を活かしたエクスカージョン等により開催地としての魅力を発信。



国際会議 (提供：奈良県国際課)

※招致の対象として検討するもの STS Forum、地球環境サミット 等



# 6-1 FESTIVAL #1 Robot, Avatar, ICT

開催時期

2025年4月(予定)

※大阪・関西万博のテーマウィークの日程により変更の場合あり。

趣 旨

けいはんな学研都市をロボットやアバターで賑やかな街に。人間の活動を助け、豊かにする様々なロボット・アバターの紹介、さらにコンピュータや通信技術、仮想空間の活用、モビリティの活用等について展覧し、「ロボット・アバター・ICT」と共に生きる未来を考えます。

概 要

## 1 シンポジウム・講演会

○「ロボット・アバター・ICT」をテーマに、多くのシンポジウム、講演会等を国際色豊かに展開。また、学生やこども向けの教育プログラム等も用意。

## 2 「ロボット大運動会」等の開催

○ロボットやアバター、AIや量子コンピュータ、メタバース等に関する最新研究、技術等をわかりやすく展示。

○「**アバターチャレンジ**」をはじめ、様々なロボットやアバターが競技する「**ロボット大運動会**」を開催。

○一般の方、学生、こどもなども参加できるものづくりのコミュニティを拡大。

○大阪・関西万博会場と結んだロボット・アバターの遠隔操作等も実施。

## 3 共生のための実証実験

○「**ロボカフェ**」など生活の様々な場面で、ロボットやアバターが活躍している街づくり。

○先進的なモビリティやMaaS等の実証実験の実施。



# 6-2 FESTIVAL #2 Well-Being

開催時期 2025年6月(予定) ※大阪・関西万博のテーマウィークの日程により変更の場合あり。

## 趣 旨

よりよく生きるために。最新の栽培技術、スマート農業、食品加工・流通技術、バイオテクノロジーなど「食」をめぐる課題、「健康」に資する研究、自然破壊や地球温暖化等「環境」をめぐる課題等について最新の知見や技術を展覧し、「ウェルビーイング」の未来を考えます。

## 概 要

### 1 シンポジウム・講演会等の開催

○「食」「健康」「環境」などをテーマに、多くのシンポジウム、講演会を国際色豊かに展開。また、学生や子供向けの教育プログラム等も用意。



### 2 エクスポジション「**ウェルビーイングの祭典**」の開催

○「食」「健康」「環境」等に関する最新研究、技術等をわかりやすく展示。  
○古代食、伝統的食文化、宇宙食など様々な「食」とそれを美味しく食べる工夫を紹介。  
○「健康」を保つ実践的方法の紹介と体験の機会の提供、「環境」を守り SDGs を達成するための具体的な取組の紹介。

### 3 マルシェ等

○様々な料理の試食、素材の購入ができる「**マルシェ**」の設置。「ロボカフェ」の設置。

### 4 「茶」の活用

○周縁に産地の広がる「茶」を活用した「**けいはんな茶会**」等の催事により、地域の歴史性や文化性をアピール。  
○世界各地に広がる「喫茶文化」をキーワードに国際会議を開催。





# 6-3 FESTIVAL #3 Startup

開催時期

2025年8月(予定)

※大阪・関西万博のテーマウィークの日程により変更の場合あり。

趣 旨

けいはんな学研都市をスタートアップが競って集まる街に。スタートアップエコシステムの機能を最大限に発揮し、国内外の様々な業種のスタートアップや支援機関等が一堂に会し、ビジネスマッチングの機会拡大、研究開発の創発、産業活性化の推進等を図ります。

概 要

## 1 シンポジウム・講演会

○スタートアップの支援を軸に、様々なステイクホルダーが参加して多くのシンポジウム、講演会、討論会等を国際色豊かに展開。

研究開発や産業の活性化、経済成長方策等について幅広く考察。



## 2 **スタートアップコンgres/ビジネスメッセ**の開催

○スタートアップや支援機関、ベンチャーキャピタル等が一堂に会してビジネスマッチングや資金調達の機会を拡大するコンgres/メッセを開催。

○大学発スタートアップとの連携や、身近な課題解決につながる分野など、独自のテーマ設定に配慮。

OKGAP+、KOSAINN+など既存の枠組みも活用。

## 3 けいはんなイノベーションハブの活用

○2025年以降も継続する総合的なインキュベーション機能として、「けいはんなイノベーションハブ」を活用。



# 6-4 FESTIVAL #4 Science & Art

開催時期 2025年10月(予定) ※大阪・関西万博のテーマウィークの日程により変更の場合あり。

## 趣 旨

科学と文化の融合による新たな価値の創造。科学技術を社会実装する装置としてのアート、科学技術の新たな用途を閃かせるアートなど、科学と文化や芸術の融合による総合知が創る豊かな未来社会のイメージを、日本文化濫觴の地であるけいはんな学研都市から発信します。

## 概 要

### 1 シンポジウム・講演会

- 「科学とアート」をテーマに、自然科学や人文科学の研究者、哲学者、芸術家、文化人ら多くのシンポジウム、講演会等を国際色豊かに展開。
- 一般の方や学生、子供も参加できる**創作ワークショップ**を実施。

### 2 エクスポジション「サイエンス & アート作品展」の開催

- 技術・産業・社会の革新を刺激し科学技術の社会実装に資するアート、既存の科学技術の新たな用途を閃かせるアートなどの作品展を開催。



### 3 コモنزの活用

- コモنزを活用して、作品制作の過程に多様な人々が関われるような仕組みをつくり、様々な文化活動や新たな価値創造を促進。

### 4 既存の文化的催事との協調

- 音楽コンサート、古典芸能、絵画展など既存の**文化的催事との協調**により一層の華やかさを演出。



けいはんなフィルハーモニー管弦楽団

# 7. オープンラボ/テックツアー

開催時期 各フェスティバル開催時 2026年以降も継続

## 趣 旨

優れた研究開発力の蓄積と数多くの歴史文化資源に恵まれたけいはんな学研都市の魅力を広くアピールし、国内外の人々の交流促進やオープンイノベーション拠点の機能強化を図るため、オープンラボ/テックツアーを展開します。周辺観光地との連携による広域観光ルートの形成、大阪・関西万博との連携による誘客にも配意し、2025年以降も継続して実施します。

## 概 要

### 1 オープンラボ(オープンキャンパス含む)の実施

- 賛同機関がその施設を開放したり又は一つの大きな会場にブースを出展するなどして、それぞれの研究内容、事業内容等を紹介し、各機関の広報、イメージアップを促進。
- けいはんな学研都市の情報発信拠点の整備や、機関間の交流促進により、オープンイノベーション拠点としての機能を向上。
- 学生や子供向けのプログラムも用意し、職業選択につながる情報を提供。



オープンラボの状況

### 2 テックツアーの開発

- 複数のオープンラボの周遊や周辺の歴史文化資源と組み合わせた「テックツアー」のルートを開発し、より広域的な連携の中で、誘客を促進し魅力を発信。
- 大阪・関西万博関連の旅行商品が発売される機会を捉えて、旅行事業者等と連携してプロモーションを促進。
- 国際会議の際に行われるエクスカージョンとして活用。【再掲】





## 8. 「コモンズ」の活用／仮想空間 (Metaverse 等) の活用

**開催時期** なるべく早期に準備し、2026年以降も継続

**趣 旨**

研究者、企業人、住民、学生など様々な分野、立場の人々が交流し、科学と文化や芸術の融合により新たな価値を生み出す場となるコモンズを創出します。

また、Metaverse 等の仮想空間も、世界中の人々と交流する仮想コモンズとして活用し、けいはんな万博に関する情報発信、仮想空間ならではのコンテンツの提供等を行います。

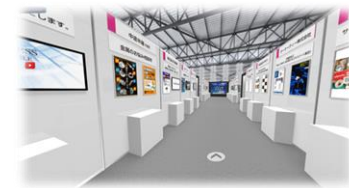
**概 要**

### 1 現実の場所としての「コモンズ」の創出

- 様々な分野、立場の人々が交流し、新たな価値を生み出す場となるコモンズを創出。
- 既に始動している「AUBAR」や「未来共創アトリエ」を成長させるとともに、「TEAM EXPO 2025」との連携や「学際(GAKUSAI)」により共創のネットワークを拡大。

### 2 仮想空間の「コモンズ」

- けいはんな万博の情報発信、多言語でのコミュニケーションの場として活用。
- 遠隔地の方や障害があるために直接参加できない方など、世界中の様々な人々との交流、共創の場として活用。
- 仮想空間ならではのコンテンツの提供



### 3 けいはんな万博後の活用

- けいはんな万博終了後も、共創、オープンイノベーション拠点の機能向上を促進。
- モノづくり×Metaverse 等による新サービスの創出や人材育成などの取組に積極的に活用。

## 9. 「学際(GAKUSAI)」プロジェクト

**開催時期** なるべく早期に準備し、2026年以降も継続

### **趣 旨**

けいはんな学研都市に所縁のある大学の学生たちが中心となって共創コミュニティ「(仮称)けいはんな大学」を形成し、その学園祭として「学際(GAKUSAI)」を開催します。

企業の方やクリエイター等も参加し、ポップカルチャーを含めた創作物、芸術作品、またその創作技術等を展示、発表し、全世界の人々と交流を深めます。

### **概 要**

#### 1 「けいはんな大学」の形成

○けいはんな学研都市に所縁のある大学の学生たちを中心に、企業の方やクリエイター等も参加して共創コミュニティ「(仮称)けいはんな大学」を形成。

○ウェブサイトやSNSを通してコミュニティ内の情報を共有し、拡大を図るためオンラインイベントを企画・実施。

#### 2 「学際(GAKUSAI)」の開催

○「けいはんな大学」の学園祭として「学際(GAKUSAI)」を開催。

○様々な創作物、芸術作品等を展示、発表し、全世界の人々との交流を促進。

#### 3 けいはんな万博後の活動

○けいはんな万博で得られた学生と企業やクリエイターとのつながりを利用して、全世界の学生、企業と連携する催事を展開。

○「グローバルヤングアカデミー」の取組とも連携。



# 10. 会場・交通について

## 会場の考え方

- けいはんな万博は、既存施設を活用して開催。
- 大規模集客催事は、けいはんなプラザ、けいはんなイノベーションセンター(KICK)、けいはんな記念公園等を中心に開催を検討することとなるが、8市町をはじめ多くの賛同機関の協力を得てより広域的に展開できるよう配慮。
- シンポジウム、講演会、国際会議等の一部は、国際高等研究所でも開催するほか、賛同機関が個別に開催するイベント、オープンラボ等は、当該機関の施設で開催。

## 交通の考え方

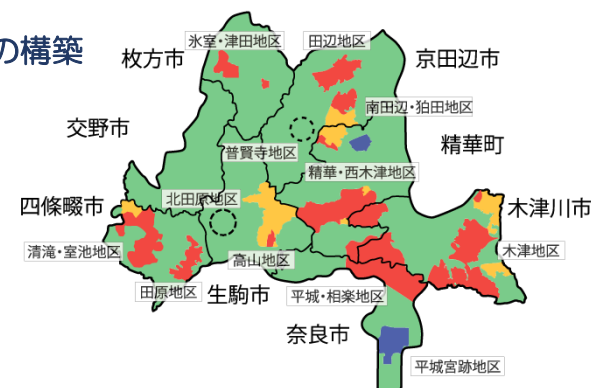
### 1 新たなモビリティへの試み

- けいはんなプラザとけいはんなイノベーションセンターの間について、自動運転での輸送システムの導入をめざす。
- 古代史における水運の重要性を発信するとともに新たな観光ルートとするため、「木津」と夢洲を結ぶ船の運航について検討をすすめる。
- 空飛ぶクルマの運行やデモフライトが可能となるよう検討をすすめる。
- 夢洲や周辺観光地との連携による広域周遊ルートの形成と相まって、最適なMaaSの構築をすすめる。



### 2 スムーズな施設間移動

- 離れた会場で複数の催事が行われる場合でも、スムーズに移動できる交通体系となるよう配慮する。
- カーシェアリング、電動アシスト付自転車等様々な移動手段の導入を検討する。
- バスやタクシーの運行会社等の協力も得て、施設間やクラスター間を最小の負担、最短の時間で往来できるよう工夫する。



### 3 夢洲等との連携

- 大阪・関西万博を訪れる国内外の来訪者をけいはんな学研都市に誘うため、テックツアーの企画等と相まって、直通バスの運行やMaaSの確立をめざす。また、その他の観光地とも同様の連携をめざす。
- 交通機関の運行状況、駐車場の満空、渋滞・混雑等の情報をリアルタイムで把握できるシステムの導入を図る。





## ご賛同いただいている機関

株式会社国際電気通信基礎技術研究所／公益財団法人国際高等研究所／公益財団法人地球環境産業技術研究機構／  
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 関西光量子科学研究所／  
国立研究開発法人情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所／  
国立研究開発法人理化学研究所／国立国会図書館関西館／奈良先端科学技術大学院大学／同志社大学／  
同志社女子大学／大阪電気通信大学／奈良女子大学／京都大学／大阪大学／京都府立大学／奈良県立医科大学／  
独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所／日本電信電話株式会社 NTTコミュニケーション科学基礎研究所／  
けいはんな記念公園／パナソニック ホールディングス株式会社／大和ハウス工業株式会社 総合技術研究所／  
オムロン株式会社／株式会社島津製作所 基盤技術研究所／サントリーホールディングス株式会社／  
ロート製薬株式会社 ロートリサーチビレッジ京都／参天製薬株式会社 奈良研究開発センター／  
積水ハウス株式会社 総合住宅研究所／公益社団法人関西経済連合会／  
京都府／大阪府／奈良県／京田辺市／木津川市／精華町／四條畷市／奈良市／生駒市／株式会社けいはんな／  
奈良学園大学／株式会社福寿園 CHA遊学パーク／イーセップ株式会社／株式会社Keigan /  
株式会社 Halle Game Lab / 株式会社 KeDDii ALPHA / アイコム株式会社 / CONNEXX SYSTEMS株式会社 /  
サンシード株式会社 / Bioworks株式会社 / 株式会社 dTosh / グリーンハ〜モニー / 株式会社森忠建設造園 /  
フロムデータ株式会社 / 堀江一級建築士事務所 / 株式会社クリーンライフサービス / 日本制御株式会社 /  
ケーピーエス工業株式会社 / 株式会社イチグチ / 環境衛生薬品株式会社 / 株式会社井上製作所 /  
マンヨーツール株式会社 / 共栄製茶株式会社 / 株式会社きんでん 京都研究所 / 株式会社マルタカ /  
タツタ電線株式会社 / 株式会社二条丸八 / 株式会社西村幸太郎商店 / 日本ニューロン株式会社 /  
カゴヤ・ジャパン株式会社 / 清和工業株式会社 / 株式会社プロテックス・ジャパン / アドコート株式会社 /  
ミツフジ株式会社 / 株式会社ヒラノテクシード / 株式会社ウィル / 株式会社ジーンズ / 抱月工業株式会社 /  
日本機材株式会社 / 株式会社ジェヌインR&D / 株式会社環境総合リサーチ (ERS) / 相楽工業株式会社 /  
株式会社イーシーフロンティア / ダイナミックツール株式会社 / 明和ゴム工業株式会社 / 株式会社加地 /  
モリテックスチール株式会社 / 東英産業株式会社 / 京都プレス工業株式会社 /  
株式会社テクノブル サイエンスパーク京都 / 株式会社オリエンタルベーカーリー / エンゼルグループ株式会社 /  
株式会社アテックス / 株式会社広和工業 / 内外化成株式会社 / 一般社団法人KEC関西電子工業振興センター /  
サイレックス・テクノロジー株式会社 / 株式会社ミズホ / 株式会社ウイスト / 新日本理化株式会社 /  
株式会社CCHサウンド / スッカマ源氏の湯 / 東京国際工科専門職大学 / 一般社団法人プレプラ / 京都光華女子大学 /  
経済産業省 近畿経済産業局 /

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構 /

「けいはんな万博」を円滑に運営していくため、  
「けいはんな万博運営協議会」を組織いたします。  
是非、ご参画をお願いします。  
みんなで一緒に「けいはんな万博」を創りましょう。

- 「けいはんな万博」は、けいはんな学研都市全体で創るお祭りです。みんなで一緒にお祭りを創りましょう。
- 「けいはんな万博」は、国内外への情報発信、ビジネスの拡大、共創・交流の絶好の機会です。
- 是非「けいはんな万博運営協議会」の各部会への参画をお願いします。
- 参画方法には、様々な類型が考えられます。ご負担を最小化しながらも積極的なご参画をお願いします。
- もし「基本計画(素案)」の中に適当な企画がなかったなら、是非新しい企画案をご提案ください。よろしく申し上げます。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 事業推進部

619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7 けいはんなプラザ ラボ棟3F

URL: <https://www.kri.or.jp/>

TEL: 0774-95-6128 FAX: 0774-95-5104